

学校だより 3月号

平成31年 3月 1日

校長 山本 一臣

山手小学校ホームページ：「佐世保市立山手小学校」で検索するとご覧いただけます。



卒業式も間近となりました

まだまだ肌寒くはありますが、少しずつ春の陽気が感じられるようになりました。インフルエンザもまだ心配なところですが、子どもたちも色んな面でよく頑張っています。

左の写真は、先日行った校旗継承の様子です。6年生から5年生の代表の児童に校旗を引き継ぎましたが、子どもたちには、それと同時に伝統を引き継いだことを話しました。山手小学校は、来年

度80周年を迎えます。これまで多くの卒業生が残してきた伝統をこれからも引き継いでいく決意を新たにしたところでした。その後は、「これからもがんばってね集会」として6年生のお別れ集会を行いました。各学年の出し物では、工夫した内容と歌や合奏が披露されました。笑いや温かさに包まれながらも、子どもたちの表現力と成長ぶりをしっかりと感じる事が出来ました。特に5年生からは、来年度最高学年としての楽しみな姿が伺えました。

卒業式も間近になりました。まずは、今年も思い出に残る卒業式になるよう、そして進級・進学に向けて、残りわずかとなりましたが毎日を大切にしながらみんなでがんばりたいと思っています。

1年間ありがとうございました

今年度は、大きな行事として算数の研究発表会を行いました。2020年から学習指導要領が大きく変わり、外国語や新しい教科道徳なども本格的に始まります。授業時数が増えるだけでなく、「主体的対話的で深い学び」を通して、これからの社会に必要な力を子どもたちに身につけさせていかなければなりません。

そこで、本校では算数科を通して自ら学ぶ力や人と関わる力を通して、深い学びにつなげてきました。こうした取り組みから、子どもたちの学力も向上しました。上の写真は、美しく並んだ子どもたちのくつです。学力だけでなく、こうした生活の基本が生きる力を育てていくものだと思っています。

1年間、学校に対するたくさんのご協力に感謝いたします。特に、PTA会長様を初め執行部の皆様方、読み聞かせボランティアの皆様等多くの方々のご協力、本当にありがとうございました。

学校評価ありがとうございました。

学校評価等に対する、アンケートへのご協力ありがとうございました。保護者、地域の方の評価も全体的に昨年より向上していました。特に、学校についてや子どもについての項目での向上が目立ちました。また、体罰に関わるような事例等もありませんでした。しかし、私たちは学校や子どもたちの課題を明確にしながら、その改善に向けても努力を続けていきます。



今年度最後の読み聞かせ

1日(金) 少年の日・安全点検
卒業式練習・PTA実行委員会

3月 行事予定

- 2日(土) スポーツ・文化表彰
- 5日(火) 卒業式練習
- 12日(火) 卒業式練習
- 13日(水) 卒業式総練習
- 14日(木) 中学校卒業式
- 15日(木) 卒業式練習
- 17日(日) 家庭の日
- 19日(火) 卒業式・食育の日
- 21日(木) 春分の日
- 22日(金) 修了式・離任式

始業式・・・4月 8日(月)
入学式・・・4月10日(水)

身の回りを整えれば成績が上がる

今の若い世代、特に男子は整理整頓や掃除を「面倒くさい」「出来ればやりたくない」と思っている人が多く、中には「おれはちらかっている方が落ち着く」などと言う人さえいます。しかし、これは生活の乱れ以外の何ものでもありません。しかもこういう環境にいと、その人が本来持っている力を発揮できないのです。それはなぜか？興南高校野球部のエピソードを紹介しましょう。

2007年4月、私は34年にわたり社会人野球の選手・監督として活動してきた北海道を離れ、母校である興南高校野球部の監督に就任しました。当時の興南高校は、24年も甲子園から遠ざかっていたので、私は強いチームを作るため、「どうやってチームワークを高めよう？」「どんな練習メニューにすべきか」と考えを巡らしていました。北海道ではコーチや監督を長くやっており、野球の指導には自信があったのです。

ところが、野球部の寮を見てビックリ。部屋は散らかり放題荒れ放題。天井にはヤモリが這い回り、床でゴキブリが運動会をしているような状態でした。「こんなところで暮らしては、いくら練習しても野球が強くなるはずがない」と思った私は部員達を集め、「今のお前達は、野球の技術では一番になれない。でも、ゴミ拾いなら勝てる。まずは日本一のゴミ拾いが出来るチームになろう」と言うので、寮の整理整頓と掃除、野球道具の手入れとグラウンドの整備を徹底するよう指導しました。

やがて、寮は見違えるようにきれいになり、グラウンドには雑草がほとんどなくなりました。部員達は、整理整頓が行き届いた状態を「心地よい」と感じたようで、それからは私が何も言わなくても自発的に片付けたり、掃除をするようになり、さらには学校周辺のゴミまで拾うようになったのです。

彼らが県大会を勝ち抜いて甲子園出場を決めたのは、それからわずか3ヶ月後です。「ゴミが落ちていないか」「ものは散らかっていないか」と常に周囲に気を配ることで、観察力と洞察力が鍛えられます。すると試合でも、相手投手の腕の動きを見て投球コースを予測したり、打者の構えから打球のおおよその方向を推測するなど、わずかな変化をとらえ、先を読んだプレーが出来るようになるのです。

この能力は、勉強にも効果があります。授業を受けている時、どこが重要なポイントなのかおのずと察することが出来ます。また教科書を読めば、不思議と覚えるべき箇所やテストに出そうな問題に目が止まるのです。

逆に整理整頓ができていない人は、注意力が散漫で細かいところに目が行き届きません。ですから、必ずといっていいほど試合や試験といった大事な場面ですつまらないミスをします。私はこういう例をたくさん見てきたので、自信と確信を持って生徒達に整理整頓と掃除の大切さを説いているのです。

我喜屋 優「興南学園理事長・校長・野球部監督」若い君たちへ

山手小一校一徳運動

笑顔で自分から 気持ちのよい あいさつ

ワンストップあいさつ